



大阪大学総合学術博物館創立 10 周年記念特別講演会のお知らせ 伝統と革新 ユニバーシティ・ミュージアムが発信する学際研究

❖ 概要

総合学術博物館は、平成 14 年に発足以来、"地域に生き世界に伸びる"大阪大学のモットーのもと、市街地に残る貴重な里山・待兼山の遊歩道が結ぶ二つの登録文化財の大阪大学会館（旧イ号館、昭和 3 年竣工）と待兼山修学館（昭和 6 年竣工）を拠点に、"ユニバーシティ・ミュージアム"ならではの特色ある視点で、多分野にわたる大阪大学の研究成果を発信してきました。平成 24 年、当館は創立 10 周年を迎え、更なる飛躍を目指す新たな出発を祈念して、**世界で活躍されている理系・文系の各専門家をお招きした記念講演会**を下記の日程で開催いたします。一般の方々のご参加をお待ちしておりますので、積極的な事前ご周知と当日の取材をお願いいたします。

❖ 特別講演会について

日時：平成 24 年 6 月 22 日（金） 14：30～17：00

挨拶

講演 1 14：40～15：40 「大正時代の京大所蔵標本が導いたクニマス発見」中坊 徹次

講演 2 16：00～17：00 「欧米大学附属美術館」蓑 豊

場所：大阪大学会館・講堂

主催：大阪大学総合学術博物館

共催：豊中市

定員：200 名

参加費：無料

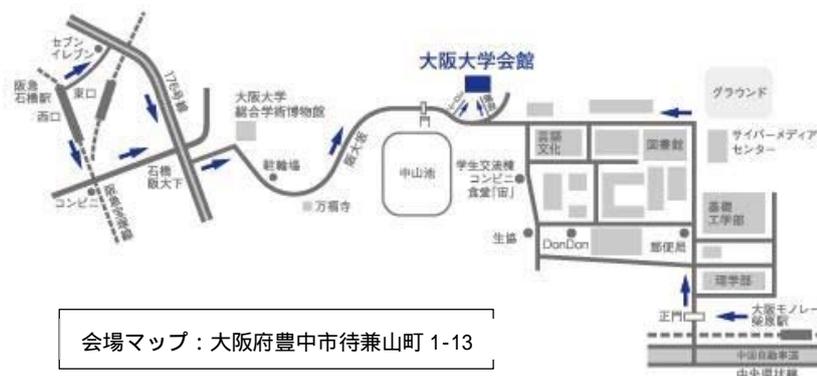
参加方法：1)お名前 2)ご職業 3)E-mail アドまたは FAX 番号を

申込期間を、延長しました 明記の上、件名【10 周年記念講演会参加希望】として、**6 月 7 日までに** oubo@museum.osaka-u.ac.jpまたは FAX(06-6850-6049)でお申込み下さい。

定員になれば締め切ります。定員オーバーの場合のみ、ご連絡いたします。あしからずご了承ください。



大阪大総合学術博物館 待兼山修学館



会場マップ：大阪府豊中市待兼山町 1-13



大阪大学会館(旧イ号館)

❖ 講演概要

 講演 1 (理系) ^{なかぼろ てつじ} 中坊 徹次 京都大学総合博物館 教授・前館長

「大正時代の京大所蔵標本が導いたクニマス発見」

絶滅していたと考えられていたクニマスを山梨県西湖で発見したのは、京都大学に90年間保管されていた秋田県田沢湖産の9個体のクニマス標本が発端だった。2003年にこの魚の特異な生態を知り、所蔵標本からCG(コンピュータグラフィックス)で生きた姿の復元を考えたが実現せず、絵による復元となり、結果として本物の生存を確認するに至った。戦後生まれにとって誰も見たことが無い魚を、そうであると断定することの理詰めの研究過程、幻の魚クニマスの正体、大学で過去に研究された標本を保存することの重要性をお話したい。


 講演 2 (文系) ^{みの ゆたか} 養 豊 兵庫県立美術館館長・金沢 21 世紀美術館特任館長・大阪市立美術館名誉館長

「欧米大学附属美術館」

ハーバード大学大学院で中国・遼時代の陶磁研究をするなかで、美術作品はいうまでもなく、来館者と直接ふれあえる美術館の世界に興味をいだいた。シカゴ美術館東洋部長や、「フェルメール展」を開催した大阪市立美術館のほか、金沢 21 世紀美術館の初代館長、兵庫県立美術館の館長を歴任した体験を踏まえ、アメリカにおける主要な大学附属美術館、博物館がいかに魅力に満ちているかを検証するとともに、美術館が街を変え、文化が都市へ及ぼす経済波及効果についてお話したい。



❖ 本件に関する問い合わせ先

大阪大学広報・社会学連携オフィス 社会学連携課社会学連携第一係 (総合学術博物館担当)

Tel : 06-6850-6715 Fax : 06-6850-6720